



2023/11/28 第9回体育祭

令和5年度 長工定育友会 関連行事

(※不参加のものも含まます)

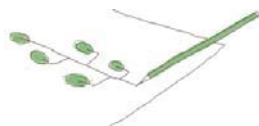


4月	【校内】入学式
5月	【校内】育友会会計監査 【校内】育友会総会 長崎地区公立高等学校PTA連合会 春季総会（書面決議）
6月	長崎県公立高等学校PTA連合会 定期総会（不参加） 九州地区高等学校PTA連合会大会 佐賀大会（不参加）
7月	長崎県定時制通信制教育振興会総会（不参加） 【校内】教科書選定委員会
9月	長崎県立工業高等学校PTA連絡協議会
10月	長崎地区公立高等学校PTA連合会 秋季総会・研修会 【校内】工業展
3月	【校内】卒業式

INDEX

【特集】親たちの生活体験発表会 P.4

定時制通信制の生徒たちが、「この学校に入学して自分がどう成長したか」を発表する「生活体験発表」の保護者版。「我が子は長工定に入ってどう成長したか」を保護者に聞きました。



活動報告 P.2

学校行事から P.6

会費の用途・お知らせ P.8



長工定育友会の令和5年度は こんな活動をしました！！

新型コロナも分類が変わり、行事の制限がほぼ無くなった今年度。
3年に1度の「工業展」開催では、初めての取り組みもありました。

5月 令和4年度会計監査

1日(月) 【校内】 小会議室

5月の総会を前に、監査役員2名にて令和4年度の学校諸費会計の監査を実施しました。出納簿・証拠書類・預金通帳を照合し、収支および支出とも適正に処理されていることを確認しました。



皆さんからお預かりした会費の動きをしっかりとチェックしました

5月 令和5年度 育友会総会

11日(木) 【校内】 視聴覚室

育友会役員である保護者と教職員が一堂に会し、昨年度の会計監査・行事实施報告と今年度の予算・行事予定について承認決議が行われました。

その他に担任紹介や学校評価アンケートの結果説明、また学校の取り組みや生徒の資格取得実績の紹介なども行われました。



校長先生からご挨拶をいただきました

続投で2年目となる会長からの挨拶



7月 教科書選定委員会

7日(金) 【校内】 選択1教室

育友会会長と副会長の2名が選定委員として学校長より委嘱を受け、来年度に使用する教科書について各教科の先生方から実物を見ながらの説明を受けました。これは、適切な教科書選定が行われているかを外部の第三者がチェックし、公正な教科書選定にするために行われているものです。

長工定ではどの教科も、複数の選択肢の中から「より見やすく、生徒が理解しやすい」事を重視して選んでいます。



各教科ごとに担当の先生から説明を受けました

9月 長崎県立工業高等学校PTA連絡協議会

2日(土) 【島原市】 島原工業高等学校

長崎県内の工業高校の全日制5校と、定時制2校の計7団体の代表者が集まり、講話と意見交換が行われました。長工定からは初参加となった昨年度に続き、今回も教頭先生と育友会会長の2名が出席してきました。

前半は元高校教師で雲仙普賢岳噴火災害を調査・記録し続けてきた満行豊人氏の講話で、当時6人の教え子を失くした体験談には保護者としても胸を打つものがありました。その後グループに分かれての協議では「工業高校の魅力をどのように発信していくか」について活発な意見が交わされました。



現在は雲仙岳災害記念館の語り部ボランティアをされている満行豊人氏

10月 長崎工業高校文化祭「工業展」

29日(日) 【校内】 学校内全域

3年に1度の「工業展」で、定時制育友会初の試みとして全日制育友会のバザーに参加させていただきました。

前月の工業高校PTA連絡協議会の折に全日制的役員さんに協力を申し出たところ、快く了承いただき、日曜日の物品販売ブースに定時制育友会から会長ほか2名の計3名が参加しました。同じ校舎に我が子が通う親同士ならではの話もできて参考になることも多く、慌ただしくも楽しく参加することができました。

これを機に、工業展以外でも全日制育友会と交流の機会を作りたいと感じました。



↑物販ブースでジュースを販売する定時制育友会役員(右から3・4人目)



会長もバイクでバザーに参戦!

育友会として初参加!

11月 長崎地区公立高等学校PTA秋季総会・研修会

11日(土) 【長崎市】 長崎西高等学校

昨年度に続き、教頭先生と育友会会長の2名が参加しました。

総会の後には「ワールドカフェ」という手法で少人数のグループごとに意見交換をしました。

テーマは「アフターコロナにおけるPTA活動のあり方」。音楽も流れ和やかな雰囲気の中、メンバーを途中に入れ替えつつ活発な意見交換が成されました。コロナ禍での他校の取り組みやPTA活動における課題などを聞くことができ、今後の活動を考えるうえで大変参考になりました。



「カフェで過ごすように気軽に話しましょう」と説明がありました。

出た意見を机に貼られた紙に書き出していきます。落書きもOK!



親たちの生活体験発表会！

～ 長工定で人生を変えた、卒業生たちの物語 ～

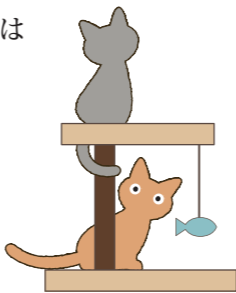
退学、大怪我を乗り越えて新たな一歩へ

我が子は初めからこちらに通ったわけではなく、最初は別の全日制の高校に入学しました。しかし一年の夏頃には退学となり、翌年こちらを受検し入学させていただきました。

バイトをしながら、バイトといえどももちろん責任がある為頑張ってバイトをし、夕方からは学校へ。

しかしそのバイト先で大怪我をして手術・入院となってしまいました。それでしばらく学校へ行けなかった時も、先生方が親身になって話し合いを何度かして下さい、色々考えて下さいました。そのおかげもあり、本人の頑張りもあり無事に卒業の日を迎えることができました。この4年間で懐かしく思い出されます。

本当にこちらに通わせていただき良かったと思います。



中学からの希望をかなえ、成長した我が子

息子は中学時代、起立性調節障害を先生に理解してもらえず怠け者扱いされ、行事の練習に欠席したことでまるで犯罪者のような扱いをされました。そして適応障害を発症し学校にも行けなくなり、当時は親も子も生きる楽しさを全く無くしていました。

それでも将来の息子の為に高校を卒業させたい、息子が勉強したいと感じ、外に出て人の中に普通の学生として笑って通学できればと願い、息子に長工定のパンフレットを見せたところ「受検したい」と言ってくれました。

合格発表を見に行った日の息子の緊張がほぐれたような笑みは、今思うと他人の子かと思えるほどです。

長工定に入って、息子は変わりました。人と話す事が怖いと感じていた子が、笑顔で誰とでも話せるようになり、1年間は自転車通学していたので体力も付き寒さにも強くなり風邪もひきにくくなったりと、中学時代の病気ばかりの日々が嘘のようで、自分のマイナスだった経験を笑いながら伝えられるように成長しました。

中学時代「生徒会に入りたい」と聞いた覚えはあったんですが、高校で本当にその希望をかなえ4年間やり遂げることができました。



進路として息子は公務員を目指しました。定時制で公務員を志望するのは初めてとのことで、全日制の先生と定時制の先生が連携して息子の勉強をサポートして下さいました。その結果、3次試験まで進む事が出来た事は、息子のこれからの自信につながっています。公務員試験は不合格になってしまいましたが、その後の就職活動への切り替え対応も迅速で、とても良い会社への内定を頂いた事、心より感謝しております。

中学では通学できなかった息子を4年間生き生きと学ばせて頂き、人をうらむような事なく今の息子にまで成長させて下さり、長工定の先生方は本当に素晴らしい方々だと思います。

長工定に通わせて良かったと思っています。

これから息子には、「責任」という思いを感じ、生徒から先生側（子から親側）の立場になれる大人になって欲しいと思っています。

【後輩の皆さんへ】

未来は自分の為で高校にいる間は、たくさん夢を語り、そこから次の自分を見つけてください。失敗する事はたくさんあります。でも長工定の先生はその後の支えがアドバイスが心があります。大学・公務員と、定時制でもめざせます。

学校に行き友だちとたくさん語り合って、笑って高校生活を過ごして下さい。

定時制・通信制高校の生徒たちが、「今の学校に入学して自分はどう変わったか」を発表する「生活体験発表会」という催しがあります。校内大会から選ばれた生徒が県大会に進み、その先には全国大会もある催しです。

その生活体験発表の保護者版として、今年度卒業生の保護者に寄稿を呼びかけたところ、3名の方がその想いを寄せてくれました。在校生や新入生、そしてその保護者の皆さんに、少しでも参考にしてもらえたらと思います。

障害と病気を克服し、特性を生かした道を目指す

小さい頃は言葉も早く、工作もお絵描きも得意だった息子。

それが小学校に上がると提出物や宿題でつまずくようになり、専門機関で「知能は高いがADHD（注意欠陥多動性障害）」と診断されました。先生には問題児扱いされ、時に心無い言葉を投げられることもありました。ストレスから息子は次第に体調を崩していき、中学に進学してまもないある日、突然ひどい腹痛に襲われるようになりました。痛みが恐くて食事ができず「おなかがすいた」と泣きながら日に日に痩せて衰弱していき、ついに起き上がれなくなりました。「この子はそのまま死んでしまうのでは」という恐怖。そんなになっても周りからは「学校が嫌で仮病でサボっている」と言われ続け、かかりつけ医も全く無力でした。

国立病院でようやく「過敏性腸症候群」と「起立性調節障害」の診断が付き、投薬で一旦は食べられるようになったものの再び悪化したため、中1の冬から入院療養生活となり、中学卒業は病棟隣の特別支援学校で迎えました。そんな状態だったので高校は全日制をあきらめ、長工定を選択しました。

地元の小中学校では、「ADHD（発達障害）だから頭が悪いだろう」とまともに教えてもらえなかったり、逆に「知能が高いなら教えなくても勉強できるだろう」と質問しても答えてもらえなかったりと、先生の無理解からきちんと向き合ってもらえないことが多かった息子。それが長工定に入ってみると、どの先生も彼の特性や能力に正面から向き合ってく下さり、息子は「学校が楽しい」と1日も休まず楽しんで登校するようになりました。3年生の時に全国工業高校基礎学力テストに向けて級友と2人で勉強に耐え、2人揃って全国1位・2位を獲得。やり遂げてさぞ安堵し、勉強の日々から解放されて喜んでいたりと思いきや、「終わるのが寂しいな」とつぶやいた息子。それほど学びたがっているのかと驚き、そこで初めて「大学受験に挑戦させてみるのもありかもしれない」と思い始めました。

先生方の心配を押し切り「ダメ元で受験してみる」と決意を固めたのは4年生の6月。そこから学校をあげて予想もしなかった支援が始まりました。通常授業に加え午前中から未履修の受験科目の補習と面接練習の日々で、最後には息子も気力体力の限界でしたが、疲れた顔を見せつつも「わかりやすく教えてもらえて勉強が楽しい」とやっぱり嬉しそうでした。

合格が判った日の夜に「これでやっと、『手を伸ばせば同級生たちのつま先くらいには届くかな？』ってくらいには追いつけたかなあ」とホッとした表情で話した息子。「周りと同じようにできない」ことに今までどれほど悩み、苦しんできたのかを感じさせる言葉でした。

無理して全日制に行かず、長工定に来たからこそ息子は休まず元気に通えて自分の得意なことを伸ばし、結果的に大きな一歩を踏み出すことができました。

同じ病気を抱えて長工定に来た後輩たちも、「病気があってもここなら色んなことができる」「生徒の頑張りを全力で支えてくれる先生たちがここにはいる」という希望をもって、これからの学校生活を送って欲しいと願っています。



全日制の高校に進学するのが一般的な中で、「定時制高校に我が子を通わせる」という選択。そこには様々な事情や困難を抱えて悩んだご家庭も少なくないものと思います。

卒業生の多くは、そうした悩みを抱えながら長工定に来て実際に困難を乗り越えた子たちです。その物語は、同じ悩みや不安をもつご家庭にとって一つの希望となりうるのではないかと思います。今回この特集を組みました。

寄稿してくださった卒業生保護者の皆様、本当にありがとうございました。

学校行事から

長工定の行事紹介！

今年はコロナ禍を脱したこともあってか、様々な学校行事への参加・見学が保護者に向けて積極的に案内されました。ここでは保護者が実際に見学できた行事と、全日制に合わせて1泊追加された3年生の修学旅行をご紹介します。

6月

第70回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会 西九州地区大会

野球部が長崎県代表として、佐賀県で開催された西九州地区大会に出場！学校が用意したバスで保護者も同行し、最後まで明るく励まし合い全力で戦った生徒たちの姿に感動をもらいました。



9月

二輪車安全運転講習会

全日制の高校にはない、長工定ならではの行事。自動車学校でビデオ教習と実技教習を受けました。



10月

修学旅行

これまで2泊3日だった日程が、初めて全日制と同じ3泊4日で実施されました。



10月

工業展

今までは4年生の展示発表だけの参加でしたが、今回は1～3年生も唐揚げ販売のバザー出店にチャレンジし、初めて全校生徒で挑みました。



唐揚げ販売は長蛇の列がでび大賑わいでした！

長工定の行事紹介！

11月

第9回体育祭

実は意外と歴史が新しい、長工定ならではの夜の体育祭。最後に保護者も一緒に記念撮影し、この学校の良さを強く感じました。



最後は保護者も先生方も入ってみんな一緒に記念撮影！

12月

進路体験発表会

4年生が進路を決めるまでの想いや過程について後輩たちに伝える発表会。1～3年生の保護者も必見の内容でした。



2月

課題研究発表会

4年生の学びの集大成を見ることができます。こちらは4年生の保護者にぜひ見てほしい内容です。



来賓の方からご講評をいただきました

会費報告

育友会費、 こんなことに使いました

保護者の皆さんからお預かりする月額300円の育友会費。
今年度、この育友会費がどんな事に使われたのかをご紹介します。



横断幕

祝！合格＆認定！学校の外にも
生徒の頑張りをアピールします！



皆勤賞・精勤賞

今年度の卒業生のうち、4年間1日も
休まなかった皆勤3名と2日だけ休ん
だ精勤1名、計4名の表彰が卒業式の
前日に行われ、育友会からもお祝いに
QUOカードを進呈しました。



卒業祝

祝！卒業！
卒業式には卒業生と
教職員の皆さんに
紅白饅頭を贈りました。



広報誌コンクールで受賞しました！

昨年度発行した「長工定育友会だより創刊号」が県立高等学校PTA広報誌コンクールで、最優秀賞に次ぐ「県公立高校PTA連合会会長賞（優秀賞）」を受賞しました。たくさんの方にご協力をいただいたおかげです。ありがとうございました。

なお表彰式は、新年度5月30日（木）の県P定期総会で行われる予定です。

受賞した創刊号表紙

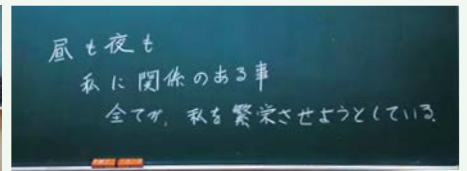


卒業ウラ話：6人目の工業技術科生

今年卒業した工業技術科5人と一緒に入学し、仕事の都合でやむなく2年生で退学された松尾良さんが卒業式に来てくれました。先生方よりも年上の社会人大先輩で、退学後も学校行事など折に触れ学校に来て生徒たちを応援してくれていた松尾さん。5人は「心の中では俺らは一緒に卒業だから」と言って、最後のホームルームを松尾さんと共に過ごしました。



卒業式後の教室の6人



退学当時、松尾さんが黒板に残したメッセージ

編集後記

今年度の4年生が入学する頃に始まったコロナ禍。それがようやく一段落し、今年度は学校行事も以前に近い形で行われるようになり、活気を感じられる年となりました。折しも3年に1度の「工業展」開催の年であり、これまで通り4年生の課題研究発表展示はもちろん、「1～3年のバザー出店（唐揚げ販売）」と「定時制育友会の全日制育友会バザー協力」という、2つの新しい取り組みがありました。他にも「修学旅行日程の1日追加」「オープンキャンパス初開催」「初の公務員試験受験」「初の国立大受験」など、従来のやり方にとらわれず、より良い学校を目指して変化していこうとする先生方や保護者の姿勢を強く感じることができました。そういった想いと頑張りが、本誌で少しでもお伝えできれば幸いです。

（育友会会長 佐田）